

1 学校教育目標

○徳・知・体の調和のとれた生きる力をもつ児童の育成

<具体目標及び行動目標>

◎思いあえる子〔豊かな人間性〕

- ・進んであいさつする。
- ・友達によさに気づき仲良く遊ぶ。
- ・相手の気持ちを考えた言動をする。

◎学びあえる子〔確かな学力〕

- ・学習の準備をし、学習ルールを守る。
- ・疑問や問題の解決に向け、進んで調べたり考えたりする。
- ・読書に親しみ、家庭学習を毎日する。

◎高めあえる子〔健康、体力〕

- ・きまりを守り、明るく元気に生活する。
- ・清掃活動に真剣に取り組む。
- ・運動に親しみ、進んで身体を鍛える。

2 目指す学校像について

○信頼される学校

- ・児童一人一人が、毎日喜んで登校する学校（明るい学校、明るい学級、明るい職場）
- ・児童一人一人が、生き生きと活動し、授業が真剣に行われている学校
- ・全職員が、積極的に学校経営に参画し、日々充実感の得られる学校

3 学校経営方針

- ①児童が安心して学校へ通い、生き生きと活動できる安全な環境づくりをする。
- ②全職員の和を大切にしながら、教職員一人一人の参画意識の高揚と組織力の強化を図る。
- ③コミュニティ・スクールとして家庭や地域と連携・協働し、社会に開かれた教育課程を実現する。
- ④学力向上に向けた組織的・継続的な取組の充実と教職員の専門性やICTを効果的に活用した質の高い授業づくりをする。
- ⑤全教職員の共通理解と関係機関との連携により一人一人に応じたきめ細かな指導・支援をする。
- ⑥温かい人間関係を基盤とし互いに認め合い、大切にできる学校づくりをする。

4 今年度の努力点

豊かな心の育成

○生徒指導の実践上の視点（自己存在感、共感的な人間関係、自己決定、安全・安心な風土）に留意した日常的な指導・支援を推進するとともに、明るく、楽しく過ごせるように一人一人の居場所づくりをする。

【秩序と温かさのある学級経営、あいさつ、返事の励行、児童の自主的、自治的な活動の充実】

○多様性を認め、自他を大切にすることを育む道徳教育や互いに支え合おうとする態度を養う人権教育を充実させる。

【道徳授業や人権学習の充実と保護者への啓発、児童主体のいじめ防止活動、「思いやりの木」の活動推進、いじめに対する教職員の意識改革、「こころのアンケート」等を通じたいじめや差別の根絶、コミュニケーションスキルを培う情報モラル教育の推進】

確かな学力の育成

○「主体的・対話的で深い学び」の視点から児童生徒が主体となる、学習スタンダードに合わせた授業づくりをする。

【学習ルールの確立、家庭学習習慣の育成、「はばたく群馬の指導プランⅡ」を参考にした授業改善、個に応じたきめ細かな指導の推進、教材研究の充実、校内研修の充実、自己課題に応じた研修の充実、学ぶ楽しさと分かったと実感もてる授業づくり、読書指導の充実、人事評価（目標管理）】

○ICTを効果的に活用し、オンラインによる交流や家庭学習等を取り入れた「個別最適な学び学習」「協働的な学び」を一体的に充実させる。

【タブレット端末の適切な運用、ICT機器を効果的に活用した授業の研究、ICT支援員活用した指導力向上研修、体系的なスキル学習、SDGsの視点を踏まえた課題設定、探究的な学習の充実】

健やかな体の育成

○体育、健康教育や安全教育を充実させ、健康・安全で活力ある生活を送る基礎を培う。

【薬物乱用防止教育・食育・感染症予防・熱中症予防等の計画的な健康教育や保健指導の充実、学校保健委員会による保健・衛生に関する理解の深化と実践、危機回避能力の育成する計画的・継続的な安全指導、食物アレルギーの対応、清掃活動の充実】

○望ましい生活習慣を確立と身体活動量の増加に向けた取組により、全ての児童が楽しく主体的に運動に取り組むための体力の向上を果たす意図的・計画的な指導を充実させる。

【ステップアップ習慣を軸とした規則正しい生活習慣の形成、体力向上プランによる教科体育と体育的行事との関連を図った体力づくり、ロング昼休みによる運動習慣の確立】

一人に応じたきめ細かな指導・支援

○全教職員により児童一人一人のよさや可能性を見出すのと同時に、児童の変化に早期に気づき、共通理解を図り、適応指導教室、SCやSSW、関係機関とも連携し、教育相談、生徒指導の組織対応を行い、一人一人に応じた指導・チーム支援を充実させる。

【校務分掌の活性化、全職員参加による職員会議・打合せの実施による共通理解の充実、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」による特別支援教育の充実、報告・連絡・相談、即時・即日対応の徹底、教職員・児童・保護者・地域社会との相互の信頼関係の確立、高い人権意識、関係諸機関との連携】

安全・安心な学びの環境づくり

○学校の安全管理、地域や関係機関と連携した交通安全・防犯対策、防災・安全対策を充実させ、児童が安心して学校に通い、生き生きと活動できる環境づくりをする。災害時は、保護者等と連携・協力し児童の安全確保を最優先する。

【いじめ問題への組織的な対応の強化、「SOSの出し方教育」の実施、教育相談体制の充実、健康管理の徹底、関係機関と連携した避難訓練・交通安全指導の実施、危機管理意識の向上、災害対応マニュアルの周知徹底、安全・安心まちづくりネットワークとの連携】

家庭や地域とともにある学校づくり

○学校から家庭・地域に情報発信し、学校・家庭・地域との連携・協働による教育活動を充実させる。

【各種たよりの発行、授業公開、Web ページの更新・充実、学校評価の実施、PTAやボランティア等との連携、中学校・こども園との連携、家庭・地域・学童保育・公民館の代表による学校運営協議会での熟議、コミュニティ・スクールとして地域の願いを踏まえた特色ある学校づくりの推進】